「富岳」が無料で簡単にお試しできる！
～ファーストタッチオプション・クイックスタートガイド～

2025年10月1日
ver2.01

理化学研究所 計算科学研究センター「富岳」Society 5.0推進拠点／
株式会社JSOL／株式会社理研数理／
一般財団法人 高度情報科学技術研究機構(RIST)／
公益財団法人 計算科学振興財団(FOCUS)

「富岳」が無料で簡単にお試しできる！

スーパーコンピュータ「富岳」ではスパコンの利用経験のない方も簡単に
「富岳」をお試しいただける「ファーストタッチオプション」をご用意しています。

「ファーストタッチオプション」のポイント

Point1 無料	Point2 簡単	Point3 早い
「富岳」の 利用料は**無料**	Webから**簡単申請** 利用後は**アンケート形式** の質問に回答するだけ	Web申請後、 **3営業日程度**で 利用可否をご連絡

世界屈指のスーパーコンピュータ「富岳」をお気軽にお試しください。

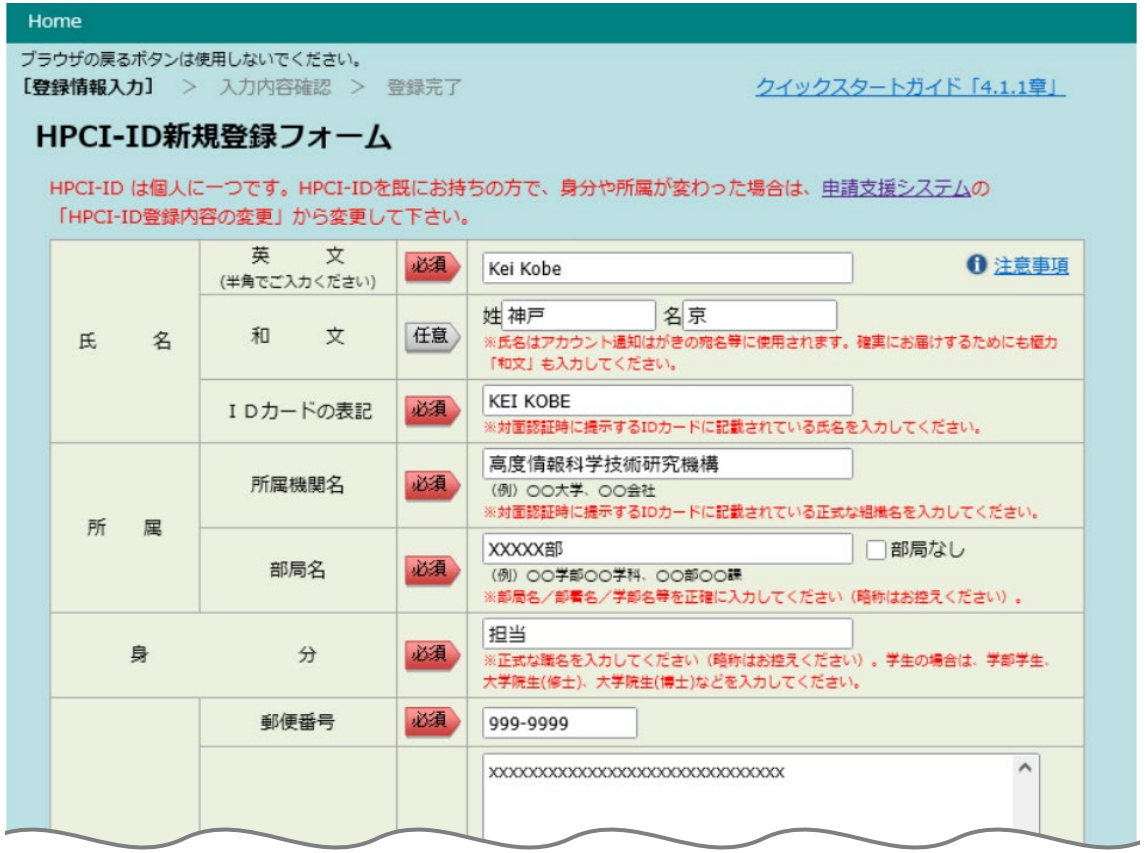
1. 準備　（1）HPCI-IDを登録する

氏名と勤務先・居住情報を入力するだけ

簡単

「HPCI申請支援システム」（https://www.hpci-office.jp/entry/）からHPCI-IDを登録します※1。

＜HPCI-ID新規登録の画面＞



Home

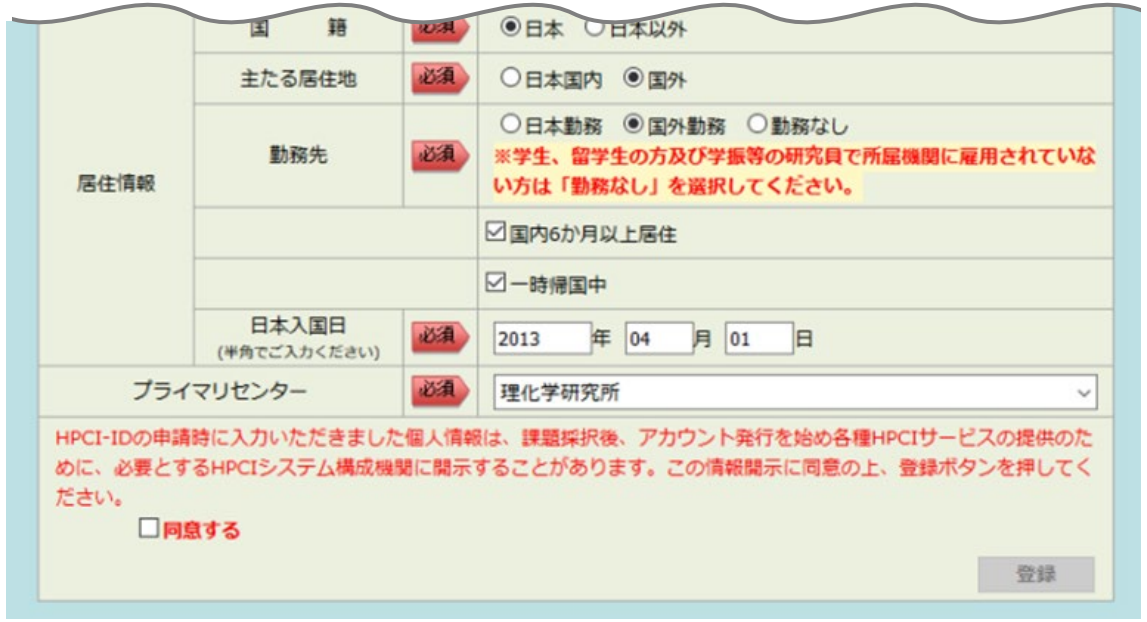
ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

［登録情報入力］ ＞ 入力内容確認 ＞ 登録完了　　クイックスタートガイド「4.1.1章」

HPCI-ID新規登録フォーム

HPCI-ID は個人に一つです。HPCI-IDを既にお持ちの方で、身分や所属が変わった場合は、申請支援システムの「HPCI-ID登録内容の変更」から変更して下さい。

氏名	英文（半角でご入力ください）	必須	Kei Kobe　注意事項
	和文	任意	姓 神戸　名 京 ※氏名はアカウント通知はがきの宛名等に使用されます。確実にお届けするためにも極力「和文」も入力してください。
	ＩＤカードの表記	必須	KEI KOBE ※対面認証時に提示するIDカードに記載されている氏名を入力してください。
所属	所属機関名	必須	高度情報科学技術研究機構 （例）○○大学、○○会社 ※対面認証時に提示するIDカードに記載されている正式な組織名を入力してください。
	部局名	必須	XXXXX部　□部局なし （例）○○学部○○学科、○○部○○課 ※部局名／部署名／学部名等を正確に入力してください（略称はお控えください）。
身分		必須	担当 ※正式な職名を入力してください（略称はお控えください）。学生の場合は、学部学生、大学院生(修士)、大学院生(博士)などを入力してください。
	郵便番号	必須	999-9999
			xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx



居住情報	国籍	必須	◉日本　○日本以外
	主たる居住地	必須	○日本国内　◉国外
	勤務先	必須	○日本勤務　◉国外勤務　○勤務なし ※学生、留学生の方及び学振等の研究員で所属機関に雇用されていない方は「勤務なし」を選択してください。
			☑国内6か月以上居住
			☑一時帰国中
	日本入国日（半角でご入力ください）	必須	2013 年 04 月 01 日
プライマリセンター		必須	理化学研究所

HPCI-IDの申請時に入力いただきました個人情報は、課題採択後、アカウント発行を始め各種HPCIサービスの提供のために、必要とするHPCIシステム構成機関に開示することがあります。この情報開示に同意の上、登録ボタンを押してください。

□同意する

登録

HPCI-IDとは、個人に1つだけ割り当てられるユニークなIDです。
課題申請手続きや、課題の参加者登録の手続きに必要です。
「富岳」以外のHPCIの計算資源の利用申請や手続きにも利用できます。

※1：既にHPCI-IDを登録している方は不要です。詳しい登録方法は「HPCIクイックスタートガイド」の「4.1 課題申請の準備」
https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf#page=8 をご参照ください。

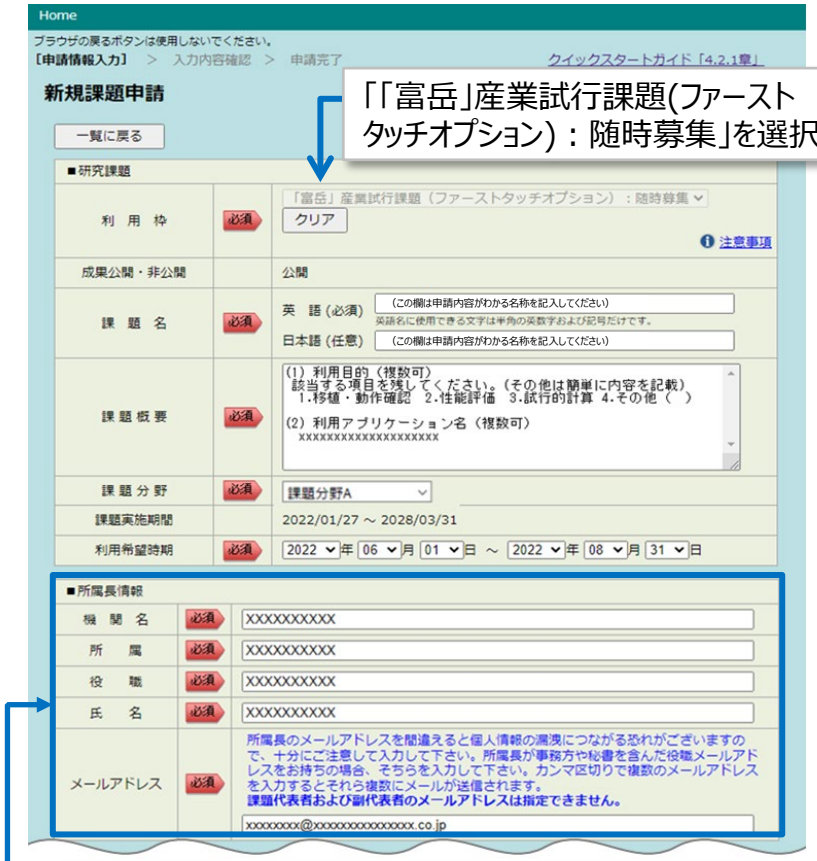
1. 準備　（2）課題を申請する

Webから簡単申請

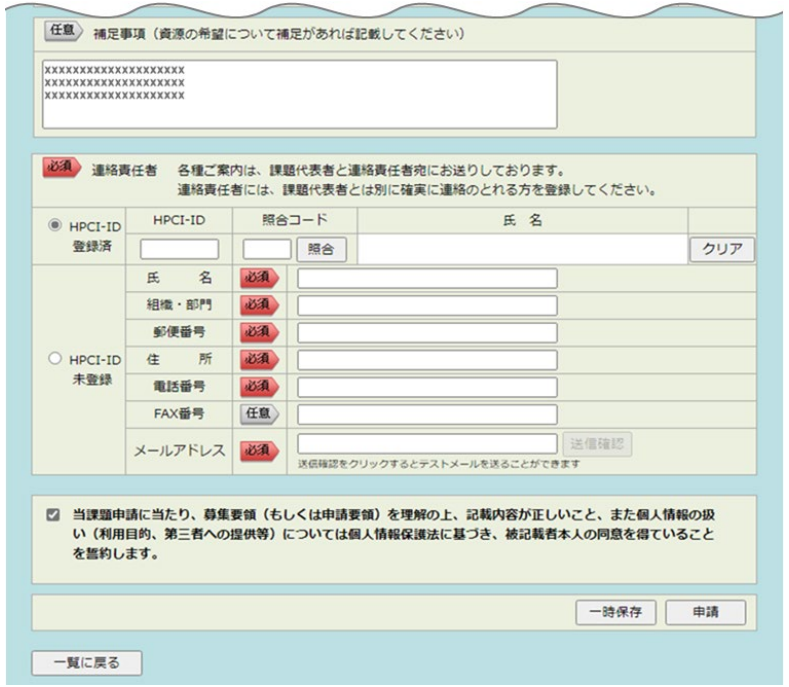
簡単

「HPCI申請支援システム」（https://www.hpci-office.jp/entry/）から課題を申請します※2。

＜課題申請の画面＞（「富岳」の産業利用を例に記載）



「「富岳」産業試行課題(ファーストタッチオプション)：随時募集」を選択。



問合せの多い項目

「所属長情報」は、課題代表者の上職の部門の責任者(例：部長、課長等)の情報を入力します。所属長の了承を得た上で入力してください。

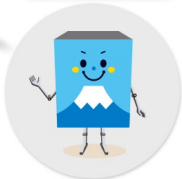
「利用希望資源(共用ストレージ)」は、HPCI共用ストレージの利用を希望する場合に入力します。「HPCI共用ストレージ」とは研究コミュニティにおけるデータ共有や大量データの格納、アーカイブを実現するために整備された総容量45PBのストレージ領域で、「富岳」ローカルストレージとは異なります。なお「富岳」ローカルストレージは、申請フォームへの入力は不要で課題単位で初期値5TBが割当てられます。課題採択後の申請で拡大可能です。

※2：詳しい申請方法は「HPCIクイックスタートガイド」の「4.2 利用課題の申請」
https://www.hpci-office.jp/materials/hpci-startguide.pdf#page=17 をご参照ください。

1. 準備　（３）アカウント発行の手続きを行う

通知が早い！

早い



申請内容の審査があります。申請から3営業日程度で審査結果がメールで通知されます。
（申請の処理状況により選定結果の通知が前後することがあります。）

課題採択の通知を受取ったら、「富岳アカウント申請システム（以下「FAAS」という）」を使用して、「富岳アカウント」を取得するための手続きを行います※3 。

「FAAS」（ログイン）：https://apply.fugaku.r-ccs.riken.jp/login

本人確認等の手続き終了後「富岳アカウント」が発行されます。発行の目安は最長10営業日です。
その後、課題代表者は、課題開始時の手続きを行います。

手続き	実施者	概要	手続き方法
利用者の手続き	全員対象	「富岳アカウント」を取得するための手続きを実施。	FAASを使用して、本人確認・所属確認、安全保障審査入力、誓約書への同意をし、「富岳アカウント」を取得するための手続きを実施する※3 。
課題開始時の手続き	課題代表者/副代表	「富岳」を利用する課題が採択された後に行う利用開始手続きを実施。	FAAS上で、課題参加者（個人）の安全保障審査入力状況を確認後、課題に関する安全保障審査入力、誓約書（課題用）への同意を行う※3 。

※3：手続きの詳細は https://www.hpci-office.jp/fugaku/for_users/procedure_fugaku.html をご参照ください。

「課題申請」～「利用開始」までのチェックリスト

RIST　ver.2.0

「富岳」産業利用申請チェックリスト
～ファーストタッチオプション～

上から順にチェックし、すべての項目がチェック☑されるよう進めます

オレンジ色：課題参加者全員が実施　ピンク色：課題代表者、副代表者が実施

HPCI-IDの作成（申請支援システム）
- HPCI-IDの作成はお済みですか？
  課題の申請には、課題参加者全員のHPCI-IDが必要です。また、氏名、所属機関はこの後の本人確認時に使用します。身分証と同一になるようにご記入ください。
  申請支援システム：https://www.hpci-office.jp/entry/

富岳アカウントの取得（FAAS）
- 富岳アカウント申請システム(FAAS)アカウントの作成はお済みですか？
  HPCI-ID、照合コードを入力し、FAASアカウントを作成します。
- 富岳アカウントの作成はお済みですか？
  FAASにログインし、本人確認書類の提出、安全保障審査入力、誓約書への同意を行い、富岳アカウントを作成します。本人確認は5年間有効となります。富岳アカウントが発行されると、利用者にメールでクライアント証明書が届き、FAAS上で富岳アカウントを確認することができます。
  FAAS：https://apply.fugaku.r-ccs.riken.jp/

課題申請（申請支援システム）
- 利用枠　利用枠は正しく設定されていますか？
  企業の利用枠は「「富岳」産業試行課題(ファーストタッチオプション)：随時募集」です。
- 所属長　所属長の名前、所属は正しく入力されていますか？
  所属長は課題代表者と同じ所属で、課題代表者よりひとつ以上の上司である必要があります。
- 連絡責任者　連絡責任者と課題代表者は別の方が入力されていますか？
  連絡責任者は万が一課題代表者に連絡が取れない場合のために課題代表者とは別の方をお願いしています。連絡が取れる方であればHPCI-IDをお持ちでない方でも問題ありません。
- 共用ストレージ　共用ストレージの申請は適切ですか？
  共用ストレージは「富岳」・HPCI間で共通して利用可能な外部のストレージです。「富岳」ではローカルストレージがデフォルトで5TB（拡張可能）利用できます。ローカルストレージで課題実施に問題がなければ共用ストレージを申請する必要はありません。

事務局確認
- 課題が申請されると、事務局が記入内容を確認します。
  修正が必要な場合は事務局より修正依頼をお送りします。

所属長確認（申請支援システム）
- 事務局確認後、事務局より所属長宛に承認依頼をメールで送信します。
  所属長に申請内容の確認と承認をお願いしてください。

審査・採択通知
- 所属長確認後、審査が実施されます。審査が完了次第、課題代表者に採択通知をメールで送信しますので次に進んでください。

安全保障審査入力、誓約書の同意（FAAS）
- FAASにログインし、安全保障審査入力、誓約書への同意にチェックします。

開始日の設定
- 事務局より開始日の連絡をしますので利用開始日を確定してください。

利用開始
- 「富岳」ウェブサイトにアクセスし、利用を開始してください。

ご不明な点はヘルプデスクまで　helpdesk@hpci-office.jp

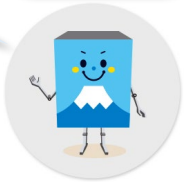
「課題申請」～「利用開始」までの手続きとチェック項目をまとめたチェックリストが用意されています。ご参照ください。

[「富岳」産業利用申請チェックリスト～ファーストタッチオプション～
https://fugaku100kei.jp/industrial_user/fto_ck.pdf](https://fugaku100kei.jp/industrial_user/fto_ck.pdf)

2. 利用　「富岳」を利用する

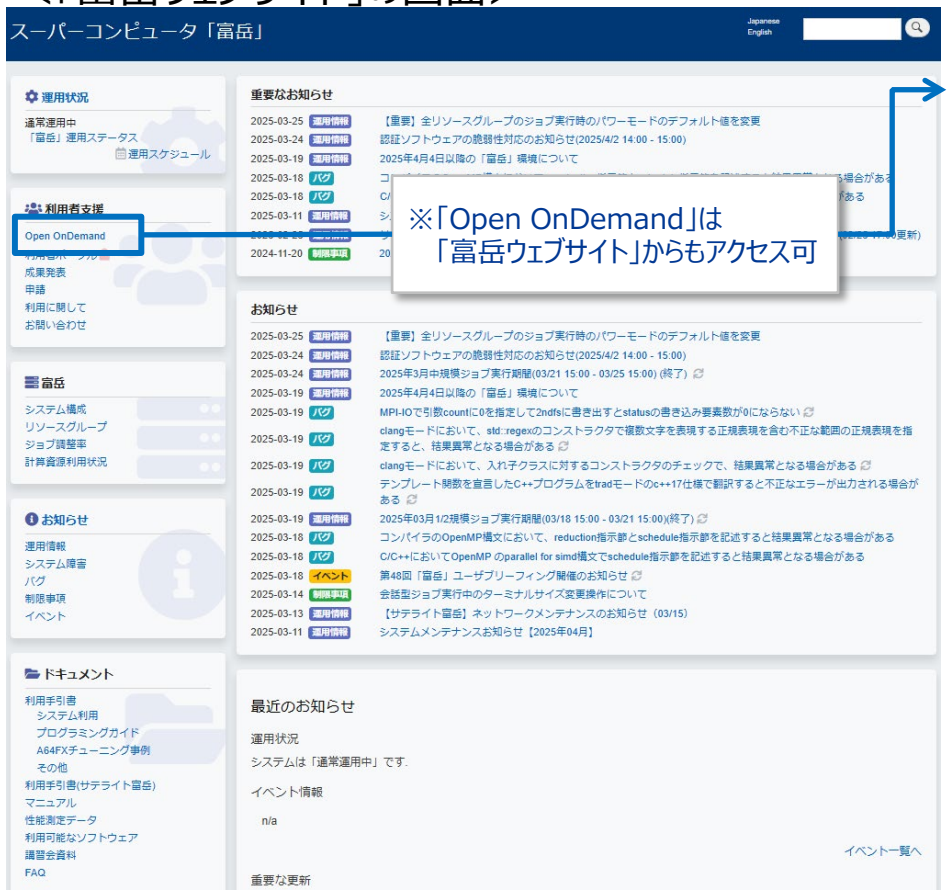
「富岳」を簡単に操作できる！

簡単



「富岳」は「富岳ウェブサイト」や、「富岳」のログインノードにログインして利用します。自作のソースコードやデータは「富岳」にファイル転送して利用します※4。また、Webブラウザから「富岳」を操作できる「Open OnDemand」を提供しています。アイコンをクリックするだけで、アプリケーションの実行やファイルのアップロード等を行えます※5。

＜「富岳ウェブサイト」の画面＞



＜Open OnDemandの画面＞

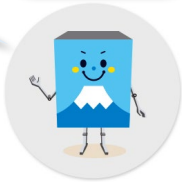
- 「富岳ウェブサイト」
  - 「富岳」の利用者のみアクセスできるポータルサイトです。「富岳」の利用手引きや運用情報、ローカルストレージの拡大申請の方法等が提供されています。
  - 「富岳」のログインノードの接続に必要なSSHの公開鍵の登録はここから行います。
- ログインノード
  - インターネット経由で利用者が「富岳」にログインするノードです。対話的に「富岳」を操作することができます。
  - プログラムのコンパイルや、バッチジョブの投入、データ転送はログインノードで行います。
- SSH(Secure Shell)
  - 暗号や認証の技術を用い安全にリモートコンピュータと通信するためのプロトコルです。
  - 「富岳」ではログイン時に「公開鍵」と「秘密鍵」を用いて認証する方式を採用しています。ユーザー名とパスワードを使用した認証と比べ、よりセキュリティや柔軟性が高いことが特徴です。

※4：「富岳」の利用方法の詳細は「スーパーコンピュータ「富岳」スタートアップガイド」 https://www.hpci-office.jp/fugaku/user-info/user-guide.pdf をご参照ください。
※5：「Open OnDemand」の利用方法は https://riken-rccs.github.io/ondemand_fugaku/index_ja.html をご参照ください。

3. 報告　利用報告書を提出する

アンケート形式の
質問に回答するだけ

簡単



利用終了後60日以内に簡単なアンケート形式の利用報告書を提出します※6。利用内容や成果の報告は不要です。

利用報告書

「実施内容」と「実施結果」を選択式で回答。
利用報告書はWebで公開。

ファーストタッチオプション用利用報告書（Web フォーム入力）
灰色掛け箇所＝自動表示（利用者による入力・修正等不要）

HPCI システム利用研究課題　利用報告書
HPCI User Report

課題番号 Project Number	
課題名（和文）	
Project Name（英文）	
課題代表者 Project Representative	氏名（和文）
	Name（英文）
	所属機関（和文）
	Affiliation（英文）
	所属機関の国名（和文）
	Country（英文）
利用ソフトウェア Software	プルダウン選択 又はその他（　　）
利用枠 Project Category	
実施期間 Periods of Use	

【選択肢】
GROMACS
LAMMPS
MODYLAS
Quantum ESPRESSO
FrontFlow/blue
VASP
GENESIS
OpenFOAM
LANS3D
NICAM
SCALE
OpenMX
FrontFlow/r
AMBER
ERmod
NTChem
CUBE
FrontISTR
CPMD
TOMBO

利用計算資源情報　Resource Information

機関名 Institutions	資源名 Computer Resources	単位 Units	割当資源量（通期） Allocated Resources

1．実施内容　（複数選択可）
□プログラムの移植・動作検証
□プログラムの性能評価・最適化
□小規模計算の試行
□その他（

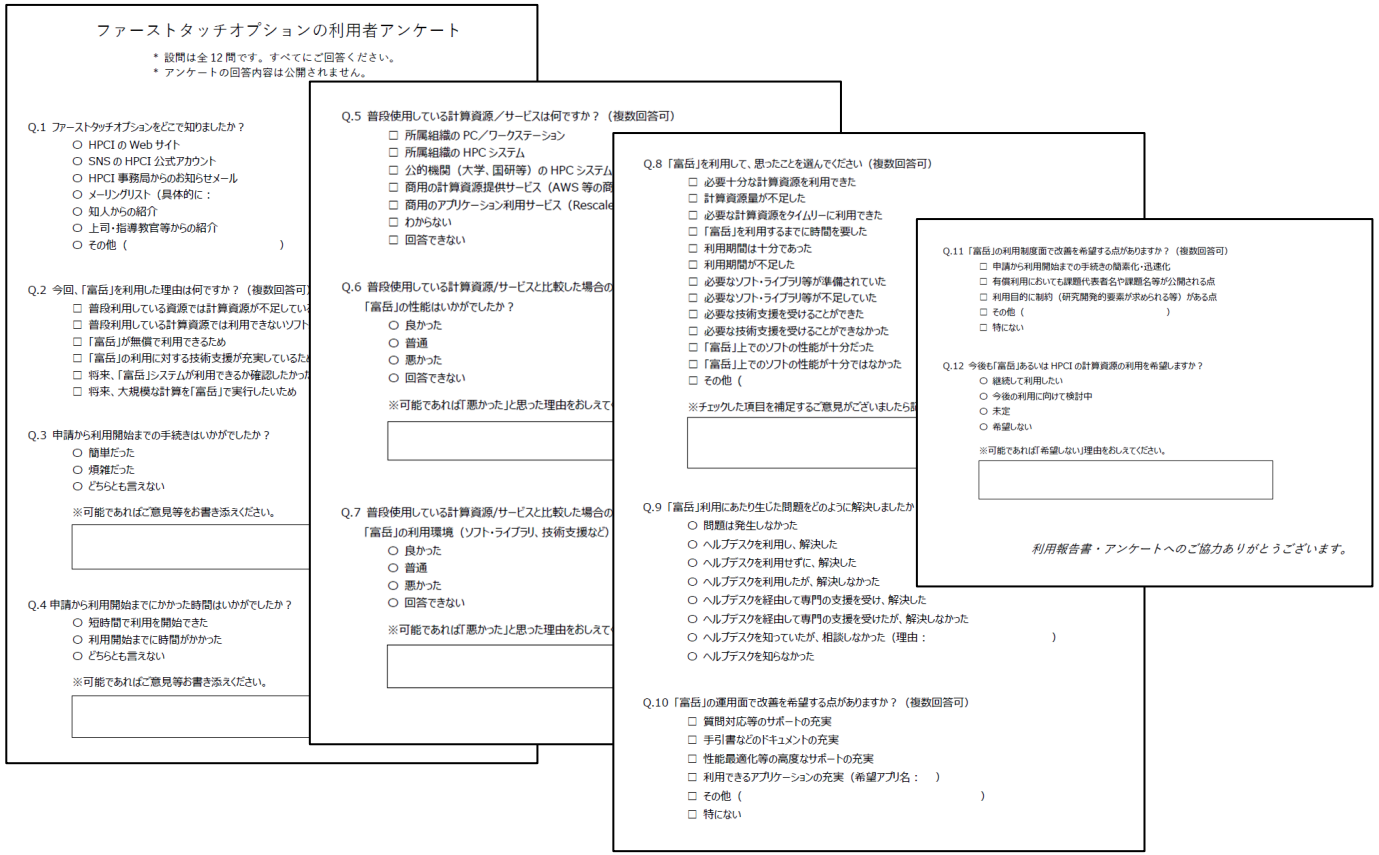
2．実施結果
□当初計画以上に達成できた。
□当初計画通り達成できた。
□やや達成できなかった。
□達成できなかった。

灰色部分は自動入力。課題代表者の各項目は自動入力されるが修正も可能。

実施内容と実施結果を選択式で回答。

利用者アンケート

利用環境／サービスへの評価など、主に選択肢チェックで回答。
アンケートの回答は非公開。



ファーストタッチオプションの利用者アンケート

＊ 設問は全 12 問です。すべてにご回答ください。
＊ アンケートの回答内容は公開されません。

Q.1 ファーストタッチオプションをどこで知りましたか？
○ HPCI の Web サイト
○ SNS の HPCI 公式アカウント
○ HPCI 事務局からのお知らせメール
○ メーリングリスト（具体的に：
○ 知人からの紹介
○ 上司・指導教官等からの紹介
○ その他（　　）

Q.2 今回、「富岳」を利用した理由は何ですか？（複数回答可）
□ 普段利用している資源では計算資源が不足してい
□ 普段利用している計算資源では利用できないソフト
□ 「富岳」が無償で利用できるため
□ 「富岳」の利用に対する技術支援が充実しているた
□ 将来、「富岳」システムが利用できるか確認したかった
□ 将来、大規模な計算を「富岳」で実行したいため

Q.3 申請から利用開始までの手続きはいかがでしたか？
○ 簡単だった
○ 煩雑だった
○ どちらとも言えない
※可能であればご意見等をお書き添えください。

Q.4 申請から利用開始までにかかった時間はいかがでしたか？
○ 短時間で利用を開始できた
○ 利用開始まで時間がかかった
○ どちらとも言えない
※可能であればご意見等お書き添えください。

Q.5 普段使用している計算資源／サービスは何ですか？（複数回答可）
□ 所属組織の PC／ワークステーション
□ 所属組織の HPC システム
□ 公的機関（大学、国研等）の HPC システム
□ 商用の計算資源提供サービス（AWS 等の商
□ 商用のアプリケーション利用サービス（Rescale
□ わからない
□ 回答できない

Q.6 普段使用している計算資源/サービスと比較した場合の
「富岳」の性能はいかがでしたか？
○ 良かった
○ 普通
○ 悪かった
○ 回答できない
※可能であれば「悪かった」と思った理由をおしえて

Q.7 普段使用している計算資源/サービスと比較した場合の
「富岳」の利用環境（ソフト・ライブラリ、技術支援など）
○ 良かった
○ 普通
○ 悪かった
○ 回答できない
※可能であれば「悪かった」と思った理由をおしえて

Q.8 「富岳」を利用して、思ったことを選んでください（複数回答可）
□ 必要十分な計算資源を利用できた
□ 計算資源量が不足した
□ 必要な計算資源をタイムリーに利用できた
□ 「富岳」を利用するまでに時間を要した
□ 利用期間は十分であった
□ 利用期間が不足した
□ 必要なソフト・ライブラリ等が準備されていた
□ 必要なソフト・ライブラリ等が不足していた
□ 必要な技術支援を受けることができた
□ 必要な技術支援を受けることができなかった
□ 「富岳」上でのソフトの性能が十分だった
□ 「富岳」上でのソフトの性能が十分ではなかった
□ その他（
※チェックした項目を補足するご意見がございましたら

Q.9 「富岳」利用にあたり生じた問題をどのように解決しましたか
○ 問題は発生しなかった
○ ヘルプデスクを利用し、解決した
○ ヘルプデスクを利用せずに、解決した
○ ヘルプデスクを利用したが、解決しなかった
○ ヘルプデスクを経由して専門の支援を受け、解決した
○ ヘルプデスクを経由して専門の支援を受けたが、解決しなかった
○ ヘルプデスクを知っていたが、相談しなかった（理由：　　）
○ ヘルプデスクを知らなかった

Q.10 「富岳」の運用面で改善を希望する点がありますか？（複数回答可）
□ 質問対応等のサポートの充実
□ 手引書などのドキュメントの充実
□ 性能最適化等の高度なサポートの充実
□ 利用できるアプリケーションの充実（希望アプリ名：　）
□ その他（　　）
□ 特にない

Q.11 「富岳」の利用制度面で改善を希望する点がありますか？（複数回答可）
□ 申請から利用開始までの手続きの簡素化・迅速化
□ 有償利用においても課題代表者名や課題名等が公開される点
□ 利用目的に制約（研究開発的要素が求められる等）がある点
□ その他（　　）
□ 特にない

Q.12 今後も「富岳」あるいは HPCI の計算資源の利用を希望しますか？
○ 継続して利用したい
○ 今後の利用に向けて検討中
○ 未定
○ 希望しない
※可能であれば「希望しない」理由をおしえてください。

利用報告書・アンケートへのご協力ありがとうございます。

※6：利用者アンケートが含まれます。利用者アンケートへの回答は「富岳」の利便性向上に役立ててまいります。利用報告書の入力項目は下記をご参照ください。
https://www.hpci-office.jp/materials/seika_form_first-touch_option_guide.pdf

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェアです（2025/9/10時点）。

(1) 「富岳」にインストール済みの商用ソフトウェア※7

詳しい利用条件や利用方法は、下記をご参照ください。

https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/docs/software/isv_software-main/ja/build/html/index.html

① ライセンス購入不要で利用可能なソフトウェア

No	分野	ソフトウェア名	説明	提供企業等	備考
1	化学	Gaussian	汎用第一原理量子化学パッケージ。１ノード内での並列実行のみ可能。利用申請が必要。 プリポスト環境では「GaussView」が利用可能。	Gaussian, Inc	
2	汎用可視化	AVS/Express	汎用可視化ソフトウェア。プリポスト環境（リモートでの実行）または ユーザーPC環境（ローカルでの実行）において利用可能。	サイバネットシステム株式会社	
3	性能分析	Vampir	並列アプリケーションの性能解析と可視化のためのフレームワーク。ログインノード、プリポスト環境においてアカデミックライセンスのVampirが利用可能（商業利用は不可）。利用申請が必要。	GWT-TUD GmbH	
4	画像処理	Kombyne	シミュレーションと同時に可視化処理を行う「In-Situ可視化」向けツール。FORTRAN や C/C++ のシミュレーション・コードにKombyne APIを組込んで利用。	Intelligent Light	

※7：理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア

(1)「富岳」にインストール済みの商用ソフトウェア※7（つづき）

② ライセンス購入すれば利用可能なソフトウェア

No	分野	ソフトウェア名	説明	提供企業等	備考
5	流体解析	CONVERGE	熱流体解析プログラム。	Convergent Science (販売代理店：株式会社IDAJ)	提供停止中
6		Cradle CFD scFLOW	熱流体解析ソフトウェア「Cradle CFD」の非構造格子系熱流体解析システム「scFLOW」ソルバー。	株式会社ソフトウェアクレイドル	
7		EXAPARTICLES/ FLOW	粒子法を用いた高精度な鋳造解析ソフトウェア。	富士通株式会社	旧名称: COLMINA CAE 粒子法鋳造解析
8		Simcenter STAR-CCM+	統合マルチフィジックスソリューション。	Siemens Digital Industries Software	
9		Ansys Fluent	汎用熱流体解析ソフトウェア。ソルバー機能のみ提供。	Ansys, Inc.	
10	構造解析	Ansys LS-DYNA	陽解法および陰解法ソルバが実装された汎用の衝撃・構造解析ソフトウェア。	Ansys, Inc.	
11	電磁界解析	Poynting	有限差分時間領域法を用いた電磁波解析ソフトウェア。	富士通株式会社	提供停止中
12		EXAMAG LLG シミュレータ	大規模マルチスケール磁界シミュレータ。	富士通株式会社	旧名称: COLMINA CAE 磁界シミュレータ
13	化学	Amber	生体分子の分子動力学(MD)計算のための力場群と、これらの力場をシミュレーションするためのMDプログラム群。	University of California, San Francisco	
14		VASP	擬ポテンシャルと平面波基底を用いた第一原理電子状態計算ソフトウェア。	VASP Software GmbH	

※7：理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

「富岳」で動作することが確認された商用ソフトウェア

(1)「富岳」にインストール済みの商用ソフトウェア※7（つづき）

② ライセンス購入すれば利用可能なソフトウェア（つづき）

No	分野	ソフトウェア名	説明	提供企業等	備考
15	数式処理	MATLAB	科学技術計算のための数値解析ソフトウェア環境。富岳フロントエンドサーバー向けに、インストール済みのMATLAB環境(Intel版)を用意。既にライセンスを所有されている方は、利用申請とライセンスのアクティベーションをすれば利用可能。	MathWorks, Inc.	

(2)「富岳」にインストールおよびライセンス購入することで利用可能なソフトウェア※8

詳しくはヘルプデスク https://www.hpci-office.jp/user_support/helpdesk にお問合わせください。

No	分野	ソフトウェア名	説明	提供企業等	備考
16	構造解析	ESI Virtual Performance Solution(VPS)	衝突安全・機構応力・強度剛性・疲労耐久・振動音響など多領域の解析ソフトを包括する構造解析総合ソリューションソフトウェア。	ESI Group	
17	その他	NAG Fortran Compiler	Fortran 77、Fortran 90、Fortran 95、Fortran 2003、Fortran 2008 のコンパイラ。	Numerical Algorithms Group Ltd	

※7：理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。

※8：富士通株式会社による公表情報(出典は下記)と、理化学研究所による「富岳」での利用開始に向けた取組みを元に記載しています。
https://www.r-ccs.riken.jp/wp/wp-content/uploads/2023/01/commercial-software202301.pdf

「富岳」で無償で利用できるソフトウェア

「富岳」で無償で利用できるソフトウェアです（2025/9/10時点）。
ソフトウェアは随時整備されるため**最新情報は下記の「ソフトウェア検索」のページをご参照ください**※9。

シミュレーション

■分子動力学
- ERmod
- GENESIS
- GROMACS
- LAMMPS
- MODYLAS
- N2P2
- NAMD
- OCTA

■物性物理
- ABINIT
- AkaiKKR
- ALAMODE
- C-Tools
- CP2K
- HΦ
- mVMC
- OpenMX
- PHASE/0
- Phonopy
- PIMD
- Quantum ESPRESSO
- SALMON
- SIESTA

■量子化学
- ABINIT-MP
- Gaussian(*1)
- GaussView(*1)
- NTChem
- NWChem
- SMASH

■計算生物学
- AutoDock Vina
- rDock

■流体解析
- FDS
- FFVHC-ACE
- FFX
- FrontFlow/blue
- OpenFOAM
- Smokeview

■構造／衝突解析
- FrontISTR

■電磁界解析
- OpenFDTD

データサイエンス

■機械学習
- Chainer
- Horovod
- Keras
- oneDNN
- PyTorch
- scikit-learn
- TensorFlow

■バイオインフォマティクス
- bcftools
- bedtools2
- biobambam2
- BWA
- dssp
- mapsplice2
- Picard
- Pysam
- SAMtools
- Star

■ケモインフォマティクス
- RDKit

■統計解析/データ分析
- Cbc
- pandas
- PyDMD
- R

■気象／気候
- NEMO
- SCALE
- WRF

■量子コンピュータ
- Qulacs
- RIKEN-braket

プリポスト

■汎用可視化ソフトウェア
- AVS/Express (*1)
- GMT
- gnuplot
- GrADS
- ImageMagick
- Matplotlib
- MOLDEN(*3)
- Ncview
- OVITO
- ParaView
- POV-Ray
- PyMOL
- Seaborn
- VESTA
- VisIT
- VMD
- XCrysDen

■メッシュ操作
- METIS
- ParMETIS

ライブラリ等

■MPI通信
- MPICH-Tofu
- 富士通MPI

■数値計算
- Batched BLAS
- BLAS
- cblas
- Eigen
- EigenExa
- FFTW
- LAPACK
- Libxc
- Lis
- mptensor
- PETSc
- PFAPACK
- SC-SUMMA-25D
- ScaLAPACK
- z-Pares
- 富士通数値計算ライブラリ

■画像処理
- ImageJ
- KIERTAA
- Kombyne(*1)
- Mesa
- OpenCV

■数式処理
- MATLAB(*2)

■データ形式
- h5py
- h5z-zfp
- HDF5
- htslib
- NetCDF
- phdf5

■Python関連
- ASE
- Hypothesis
- mpi4py
- NumPy
- pip
- pyGPs
- pytest
- scipy
- xarray

■その他のライブラリ等
- Adios2
- blitz
- Boost
- Git LFS
- RAJA
- Spglib

開発環境

■コンパイラ/インタプリタ
- GNUコンパイラ
- Julia
- LLVM
- Omni XcalableMP
- OpenJDK
- Python
- Ruby
- 富士通コンパイラ

■その他開発環境
- Cmake
- Dask
- Gnome3
- GNU Global
- JupyterHub
- JupyterLab
- Kokkos
- RStudio
- screen
- tmux
- VSCode

■性能分析
- Darshan
- Darshan-util
- Linaro Forge(*1)
- NVIDIA profiler
- TAU
- Vampir(*1)(*3)

システム基盤

■OS
- Red Hat Enterprise Linux

【凡例】
(*1) 「富岳」にインストール済みで無償で利用可能な商用ソフトウェア
(*2) ユーザ所有のライセンスをアクティベーションすれば利用可能な商用ソフトウェア
(*3) アカデミックライセンスで商業利用は不可

※9：ソフトウェア検索のページ：https://www.hpci-office.jp/using_hpci/hardware_software

利用者のサポート（1/2）ヘルプデスク

利用中の支援として「ヘルプデスク」はワンストップのサービス窓口です。あらゆる相談に対応します。お気軽にお問合せください。

- メール：helpdesk@hpci-office.jp
- Web：https://www.hpci-office.jp/user_support/helpdesk
- 電話：078-940-5795
- Webフォーム、メールによる受付：24時間
- 電話による受付：平日9:00～12:00/13:00～17:30
- 対面相談（要事前連絡）も可（理化学研究所 計算科学研究センター内 R101）
- 「富岳」をはじめとするHPCI利用者の一元的相談窓口としてあらゆる相談に対応。

申請前の事前相談例
- 利用申請手続きについての相談
- 利用方法についての相談
- 課題申請の記入方法についての相談
- 計算機環境（ハードウェア・システムソフトウェア・応用ソフトウェア）についての問合せ

利用相談例
- 利用時の技術相談
- 利用時のトラブル相談
- コンパイルエラー、実行時エラー等の相談
- 他システムからの移行の相談
- ライブラリ、ツール等についての相談
- 性能情報採取方法についての相談

利用者のサポート（2/2）伴走型利用支援

自社の業務に活用するためにHPCIシステムを利用した自社だけでは達成困難な研究・開発に対し、全フェーズにわたり伴走的に支援を行います。支援形態は「定期型」と「随時型」の2種類があります。

		定期型と随時形で共通	
募集要領		https://www.hpci-office.jp/user_support/industrial_support/accompany_support	
募集概要	応募資格	国内に登記された企業に所属する方	
	支援費用	無償	
	支援利用報告書	支援終了後60日以内に簡単な「伴走型利用支援　支援利用報告書」を提出 ※「富岳」の有償利用で利用報告書非公開を選択された方は、伴走型利用支援の報告書も非公開（提出は必要）	
	支援件数	定期型と随時型を合わせて年間数件程度	
	利用回数	複数回の利用が可能。ただし、過去に伴走型利用支援を利用した回数が少ない企業（事業部門）を優先	
		定期型	随時型
	募集スケジュール	・申請は随時受付 ・審査は年2回(2月末、8月末それぞれまでの受付分) ・審査期間は申請締切の翌月の初旬～下旬 ・採択結果は申請締切の翌月の下旬に通知	・申請は随時受付 ・受付後、速やかに審査を実施 ・採択結果は受付後1～2週間程度で通知
	支援期間	最長6か月間	最長2か月間
	審査	RISTおよび有識者が書類審査およびヒアリングにより募集要領の「6. 審査」に基づいて審査を実施	RISTが書類審査により募集要領の「6. 審査」に基づいて審査を実施

出典：https://www.hpci-office.jp/user_support/industrial_support/accompany_support

ファーストタッチオプションのご利用後

「富岳」には利用目的に応じて様々な課題種類が用意されています。有償課題では、優先実行や報告書等非公開（採択結果等の課題名、代表者、所属機関も非公開）も可能です。ファーストタッチオプションご利用後は用途に合う課題をご利用ください※10。

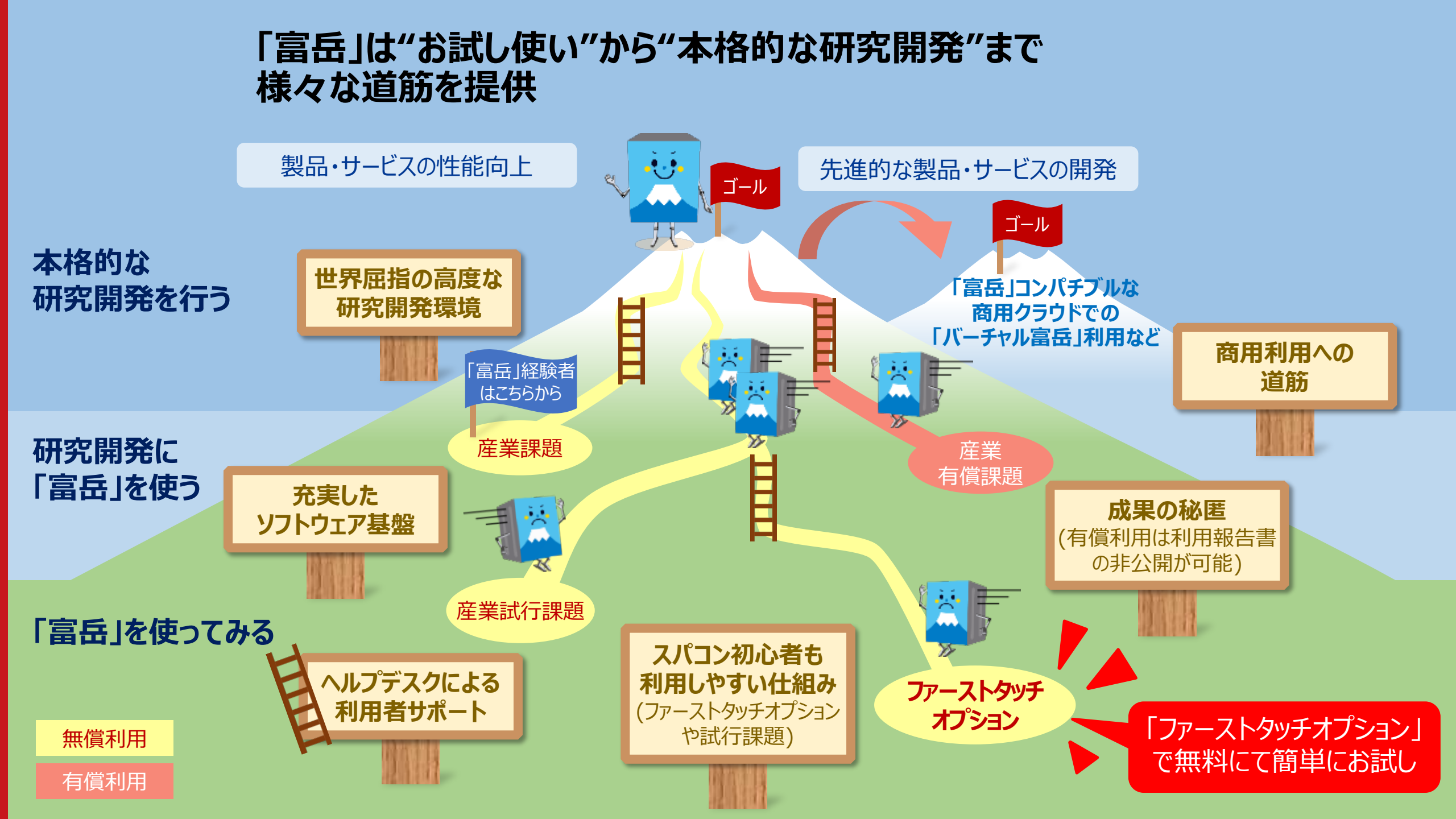
「富岳」の利用イメージ（「富岳」の産業利用を例に記載）

事前準備　利用するアプリを検討し、自社の計算機や商用クラウドなどで動作を確認。

「富岳」利用

産業試行課題（ファーストタッチオプション）	「富岳」を使ってみる。従来より簡単な手続きで審査も迅速。	随時募集	無償	利用報告書公開（アンケート形式の報告のみ）
産業試行課題	「富岳」でのアプリケーションの動作検証、アプリ性能評価、必要資源量の見極め、計算の試行を行う。	随時募集	無償	利用報告書公開
産業試行有償課題			有償	利用報告書等非公開も可
産業機動的課題	小規模ではあるが、機動的な利用により成果の創出を狙う研究開発に資する課題を実施する。	随時募集（採択は年4回）	無償	利用報告書公開・レビューを伴う成果公開の義務あり
産業課題	「富岳」の機能・性能を有効に活用する、大規模な研究開発に資する課題を実施する。	定期募集	無償	利用報告書公開・レビューを伴う成果公開の義務あり
産業有償課題		随時募集	有償	利用報告書等非公開も可

- ファーストタッチオプションは何度でも利用可能です。1,000ノード時間以下の計算資源で引き続きアプリケーションの動作・性能確認やお試し計算などを行う場合は、再申請してください。
- アプリケーションの動作・性能確認を目的として1,001～10万ノード時間の計算資源が必要な場合は、ファーストタッチオプションではない「産業試行課題」を申請してください。
- 小規模で、機動的な利用により成果の創出を狙う課題を行う場合は、年4回審査のある「産業機動的課題」を申請してください。
- 大規模で、「富岳」の機能・性能を有効に活用する課題を行う場合は、年2回募集のある「産業課題」を申請してください。
- 有償で優先実行・利用報告書や機関名等を非公開にできる「産業有償／試行有償課題」もあります。

※10：各課題種類の応募条件・詳細はHPCIポータルサイトに掲載されている募集要領をご確認ください。
https://www.hpci-office.jp/using_hpci/project_categories_industrial

「富岳」は“お試し使い”から“本格的な研究開発”まで様々な道筋を提供